

# 月刊 新翔タイムズ

第68号 新翔タイムズ編集室 発行・熊野新聞社

## 第7回卒業証書授与式



新翔高等学校(竹村校長)では3月3日(月)に第7回卒業証書授与式が行われ、男子69人、女子76人の計145人が卒業証書を手にした。

# 新翔卒業生の誇り胸に



竹村校長は祝辞の中で「皆さんが手にした卒業証書は、一人一人の努力によって得られたことはもちろんですが、同時に深い愛情を持って励まし支えてこられた家族の方々や先生方、友達など

## 「実施日時知らせず」第2回防災訓練



今年度4月23日に実施した防災訓練に引き続き、2回目の訓練を3月6日に実施した。今回の訓練の特徴として、「地震はいつどこで起こるか分からない」ということから、実施日時を生徒に知らせない方法をとった。さらに、避難時の課題として、「しゃべらない」を挙げ、学校から避難場所へ速やかに移動することを目的に実施した。



## 運営スタッフとして貴重な体験



2月9日に平成25年度「新宮市災害ボランティアセンター設置訓練」が行われた。今年度は高田地区で実施され、高田の多目的軽スポーツセンターを高田サテライトとして行われた。

新翔高は訓練が始まった平成19年度から参加しており、今回はボランティアセンターのスタッフ11人、一般ボランティア10人、教員3人の計24人が参加した。運営スタッフとして参加



した2年生は、「熊野と防災」選択生は、受付・オリエンテーション・機材・車両の各班に分かれ、新宮市社会福祉協議会や他のボランティア団体の人たちにいろいろ教わりながら、運営

スタッフとしての仕事に取り組んだ。今回のボランティア活動を体験して生徒達は、「大人の人たちと一緒に活動を取り組んだボランティア活動は貴重な体験になった」「災害時にも今回の経験を生かすため、ボランティア活動に積極的に参加したい」「コミュニケーションが大切だと思った」などの感想を持った。

## クラブ紹介

### 美術部

新翔高校美術部は現年度、3年生は主に文化祭で展示をした作品に意欲的に取り組み、2年生は文化祭ポスターの制作をしました。また第33回近畿高等学校総合文化祭の平面、立体部門にそれぞれ1年生が制作に取り組み、初めてながらも本人たちの納得がいく良い作品ができあがり出品しました。さまざまなことに興味を持ち、幅広い制作に取り組んでいます。

## 大学や専門校から講師

### 1・2学年 進路説明会

3月14日に1学年、2学年生徒全員を対象とした進路説明会が実施された。生徒はあらかじめ希望していた分野にそれぞれ分かれて受講した。それぞれの分野には大学や専門学校などの先生が講師となり、1年生は16会場、2年生は15会場に分かれ、進路に関する学習を行った。1年生の就職



## 2学生 新宮港で工事現場見学 建設技術系列

3月18日に建設技術系列2年生の生徒が、現在行われている新宮港湾施設整備工事の現場見学を行った。この工事は和歌山県が発注し、地元建設会社夏山組が受注した。当日はあいにくの雨であったが、新宮港にケーソン(1箇所2500トン)を据え付けるために来ている「第28吉田号」の説明や船内見学を行った。まず、生徒達は新宮港内にある現場事務所前であいさつを済ませた後、「第28吉田号」に乗船した。そこでは、吉田組の方からこの船の役割や規模、特長について船内を移動しながら説明を受けた。その中で、3000トンの物をつり上げることのできるワイヤーの太さや多さに驚くとともに、それらを操作する部屋では、天井に取り付けられているアームの役割についてなどの質問をしていた。再び現場事務所に戻り、お礼のあいさつを済ませ学校に戻った。後日、いただいた資料を授業で振り返り、今回の工事内容の理解を深めた。



## 1学年 生徒主導で発表 インターンシップ報告会

3月7日に1年生によるインターンシップ報告会が行われた。これは「産業社会と人間」という授業の一環で、1年生全員が1月下旬、3日間体験したインターンシップで学んだことを披露するもの。事前にクラス内で班別発表会やクラス発表会が行われ、クラスから選出された10人が発表を行った。また司会進行係やパワーポイント操作係も生徒が行い、生徒主導で進められた。発表者のひとりである数本悟君は「インターンシップで学んできたことをしっかりと伝えることができた。発表はいい経験になったし、この発表の経験も将来役に立つと思う」と述べた。また、発表を聞いた菊地海来さんは「発表した人の話は聞きやすく、興味をもって聞くことができた。あんなに大勢の前で発表していた人はす(う)いと思つ」と述べた。

